

漁況情報

【4月上旬～5月上旬】各地：ひじき漁解禁「口開け」

4月上旬～5月上旬、各地の漁協でひじき漁が「口開け」と呼ばれる解禁となりました。解禁日は、毎年同じ日ではなく、漁場管理委員会が採捕に適した潮回りや天日干しに適した天候を考慮して決めている漁協もあります。

収穫したひじきは、乾物として出荷されるほか、乾物とは一味違ったしっとりとして弾力のある食感が特徴の釜揚げとして直売所で販売されます。



天日干しの様子(長井)



釜茹での様子(葉山)



直売の例(佐島)

浜の話題

【4月9日】鎌倉：はまぐり漁業者グループ総会

4月9日、湘南漁協鎌倉支所のはまぐり漁業を営む漁業者のグループ「鎌倉はまぐり部会」が総会を開催しました。独自の禁漁期間や放流用種苗の原資となる水揚歩金の設定等、資源管理の取組みの継続を決定しました。

【4月11日】小田原：カジメ藻場再生活動

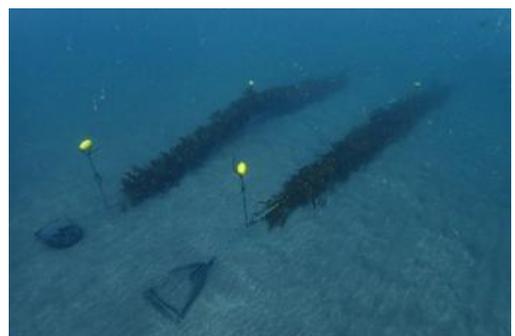
4月11日、小田原藻場再生活動組織は相模湾試験場から提供を受けた早熟カジメを江之浦地先の消波ブロック近くの海底に設置しました。食害の少ない砂底の海域に設置することで藻場造成を図ります。



提供を受けたカジメ



設置作業の様子



海底に設置したカジメ

【4月15日】長井：ワカメ種付け

4月15日、長井町漁協所属の漁業者がワカメの種付けを行いました。採捕した天然ワカメのメカブから放出される遊走子(種)を種糸に付着させます。

また、3月に小坪漁協の漁業者が種付けを行った早く生育する系統の種糸も用意され、さまざまな海洋条件に適応できるよう試みます。



天然ワカメのメカブを水槽に投入



放出された遊走子を種糸に付着させる

【4月18日】漁業士会:役員会

4月18日、かながわ県民センター(横浜市)で令和6年度第1回漁業士役員会が開催されました。この4月から任期が始まった役員が集まり、蒲谷会長の挨拶に引き続き、今年度の活動や漁業士研修会等の議題について協議しました。

【4月19日】平塚：初のワカメ種付け

ワカメやアカモクの養殖を試行している平塚市漁協では、このたび初めてワカメの種付けに着手しました。4月19日に養殖ワカメと天然ワカメのメカブを用いて種付けしましたが、遊走子も多く放出され、種の密度が濃い状態で種付けできました。



ワカメ種付けの様子

【4月22日】小田原：アカモクスポアバック投入

4月22日、小田原市漁協青年部は蓄養水面で養殖し成熟したアカモクを袋に詰めたスポアバックを作製し、小田原沖の人工リーフに投入しました。かつてアカモクが生い茂るガラモ場だった海域に投入し、成熟したアカモクから出た種を拡散させることで、藻場の再生を目指しています。



養殖ロープからアカモク母藻を取り外す様子



スポアバックを投入する様子

【4月30日】しらす協議会：役員会

「湘南しらすの日」である4月30日、しらす協議会は江の島片瀬漁協で役員会を開催しました。当日は、神奈川県とセブンイレブンの包括協定によって、昨年11月にセブンイレブンで製品化して販売された「湘南しらすと菜飯のおむすび」についての報告の後、今年度のかながわブランド販促支援事業の活用や、11月の同協議会研修会のテーマ等について協議しました。

「湘南しらすと菜飯のおむすび」

掲載サイト <https://twitter.com/711SEJ/status/1726830297541709942>

県とセブンイレブンの包括協定で昨年実施された「いいじゃん！かながわフェア」

記者発表 <https://www.pref.kanagawa.jp/docs/bs5/prs/r7580107.html>



「湘南しらすと菜飯のおむすび」

【5月2日】逗子（小坪）：マガキ水揚

5月2日、小坪漁協所属の漁業者は、養殖の試験を行っていたマガキを水揚げしました。養殖試験は、水産技術センターが提供した3倍体の種苗を短期飼育したものです。蒸し牡蠣として消費者に提供可能なサイズにまで成長し、全量を試食に供しました。



かごに収容したマガキを水揚

【5月3～5日】 逗子（小坪）：「小坪魚々祭り」

5月3～5日、小坪漁港において、小坪漁協所属の漁業者グループがフードイベント「小坪魚々祭り」を開催しました。サザエの浜焼き、しらす丼、地魚のちゃんちゃん焼き等のフード屋台等の出店があり、多数のお客様でにぎわいました。

5月2日に水揚げした試験養殖のマガキをアヒージョに調理し、試食に供していました。小ぶりながら、歯ごたえと風味・旨味がアヒージョオイルのなかでしっかりと際立っており好評でした。



漁業者による浜焼きの屋台



漁業者による地魚料理の屋台

お知らせ

「漁況情報・浜の話題」の号数について

「漁況情報・浜の話題」の号数を発行月で表示してまいります。従来は、県の事業年度に合わせて、4月発行分を No.1として、翌年3月を No.12としていましたが、この号から発行月に合わせた表示に変更します。前号は、No.2024-1でしたが、この号は2024年5月号になります。